

第3回沢山地域復興まちづくり懇談会 主な質疑のまとめ

開催日：平成25年9月1日(日)

出席者：85名

【沢山地域の生活環境に関する質問】

Q：沢山には排水の問題があるが、地盤が低いことが問題であり、排水路を改修しても解決しないのではないかと心配である。最近の豪雨による被害のことも考えてほしい。

A：沢山地域の排水の問題については、以前から意見を頂いています。現在は、水路の線形を改善して排水しやすく



することや、沢山沢川の安渡放流口の変更等について検討しています。なお、国に対して復興事業による沢山地域全体のかさ上げを申請していますが、難しい状況のため、水路の改修等を行っても浸水する可能性のある部分だけでもかさ上げできないか継続して協議を行っているところです。

Q：雨水排水の処理は分かったが、下水道整備も並行して検討を進めるべきである。

A：現在、町全体の下水道計画区域の見直しを行っています。小中一貫校の整備に伴い、沢山地域は計画区域に含まれることになっており、復興交付金で来年度以降に下水道を整備する予定で検討を進めています。

【道路整備計画に関する質問】

Q：移転住宅団地が整備される予定だが、一番北側に計画している団地の現時点の予定戸数はどの程度か。また、移転住宅団地までの道路は、狭くて小さなカーブが多いために通行が不便だが、住宅団地の造成に合わせて改善する予定はあるのか。

A：移転住宅団地は6～8区画になる見込みです。また、復興交付金で道路を整備するには避難路等の位置付けが必要となりますが、計画戸数が少ないために難しい状況にあります。復興交付金以外で整備する場合は町の単独費を使用することになりますが、財政状況から実施は難しいです。

Q：大槌高校の保護者が生徒を送迎する車が地域の交通の障害になっている。小中一貫教育校が整備されるとさらに通学児童が増え、地域の交通に支障を来す恐れがあるので、骨格道路の整備に合わせて周辺の道路網も改善してもらいたい。 (次ページに続く)

A：骨格道路は現状より広い12mの幅員で整備するので、安全を確保できると考えています。また、旧大槌中学校周辺と沢山地域を結ぶ大ケ口大橋を整備するので、大ケ口方面から小中一貫教育校に向かう車両は大槌インター側に誘導する等の対応を検討します。

Q：大ケ口大橋と三陸縦貫道のアクセス路ができるから問題ないということだが、保護者はなるべく最短距離となる道路を通ると考えられ、大槌川上流方面に向かう場合、骨格道路の途中から旧大槌北小学校の裏を抜けていくと思う。実情にあわせた検討をしてほしい。

A：現状の迂回状況なども踏まえた上で、周辺道路網を検討していきます。

Q：小中一貫教育校から大槌高校に進学すると沢山に12年間通うことになる。成長期の12年間は重要であり、子供達が大槌を思い出す景観形成が必要なので、みどりなど景観に配慮してもらいたい。

A：校舎の外構等については、今後みなさまからご意見を頂き、まちづくりの重要な要素となるみどりについても取り入れ、9年間通学する学舎として整備をしていきたいと考えています。

また、子ども達には町に対する誇りを持ってもらえるように、大槌町の伝統文化や歴史等に関する学習をしてもらい、小中一貫教育校としてのメリットを活かした独自のカリキュラムを考えています。大槌高校とも連携しながら、大槌の将来を担う子ども達の情操教育に努めていきます。

【インターチェンジ周辺の整備に関する質問】

Q：インターチェンジの入り口に道の駅を整備する計画があったが、その後どうなったのか。インターチェンジは大槌の玄関口になる場所である。周辺に道の駅や産直施設等を整備すれば観光客に来てもらえると思うので、何らかの整備が必要だと思う。

また、全国的にどの地域でもサービスエリアが充実しているが、三陸縦貫道にはサービスエリアを整備する予定はないと聞いている。施設が整備されればサービスエリアの代わりに利用してもらえると思う。

A：ご指摘の通り町の玄関となる場所のため、第1回目の復興交付金申請でインターチェンジ周辺への産直センター（農協）の整備に関する案件を盛り込みました。サービスエリアを整備する計画はありませんが、産直施設と農協の営業センターを整備することになっており、にぎわいの創出に向けて農協が主体となって町と一緒に検討を進めています。



◆お問合せ

〒028-1192

岩手県上閉伊郡大槌町上町1番3号

大槌町 都市整備課 区画整理班

電話 0193-42-8723（直通）

FAX 0193-42-3858